

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2018年度 パフォーマンス向上会議情報(2018年9月26日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年9月26日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	【協力企業作業員の熱中症発生について】 構内車両のスクリーニング・除染業務に従事する協力企業作業員が体調不良により帰宅後、構外医療機関での受診により熱中症Ⅰと診断され、点滴加療を受けた。	GⅡ
2	【サブドレン他浄化設備攪拌機(B)入口側pH計の指示値不良について】 サブドレン他浄化設備処理水pH調整用攪拌機(B)の入口側pH計に指示値不良を確認。 今後、当該pH計を点検予定。	GⅢ
3	【5号機ディーゼル発電機冷却海水系(B)海水排水時の床ファンネルからの溢水について】 5号機タービン建屋地下1階にてディーゼル発電機(B)冷却海水系(B)の海水排水作業時に、ディーゼル発電機(B)室の床ファンネル1箇所と6.9kV電気室の床ファンネル1箇所より海水が溢水し、床面に漏えい。 漏えい量は、合計約20リットルで、汚染測定結果は汚染なし。 漏えい水の拭き取りを実施。	GⅢ
4	【増設多核種除去装置排水シンクの排水配管接続部からの水のにじみについて】 増設多核種除去装置の排水シンクと排水配管の接続部に水のにじみを確認。 今後、当該配管接続部を修理予定。	GⅢ